

令和5年度 第2回健康づくり推進協議会 質問事項について

資料2

質問の概要と回答、及び計画への反映状況

No	委員	質問事項	第2回協議会での回答	計画への反映状況
1	丸山委員	8万人のヘルスアップについて人口が減っているのでは考えないといけないのではないか	事業名については検討させていただきます。キャラクターについては広く普及しているため引き続き使用したいと思います。	令和6年度より事業名を「ヘルスアップ事業」と改め、キャラクターについては「8万人のヘルスアップ」のロゴを削除して使用していきます。
2	成瀬委員	指標が率で示されているので、多いのか少ないのかわかりにくい。	国の目標値がその形でしか出されておらず、比較しようとするとその提示しか方法がなく、人数で目標値を出すことが困難です。目標値とは別の指標で現状把握をして事業を組み立てて行っていきます。市民にわかりやすい表示の方法として概要版を作成します。	概要版の作成
3	成瀬委員	特定健診の受診率をあげるのに従来通りの方法では同じことにならないか。	特定健診の受診率は継続してやってきた内容ではなかなか上がらない状況です。効果的な受診勧奨を検証し対策を講じていく予定です。	
4	丸山委員	高齢化社会なので75歳未満の死亡率を見直した方がいいのではないか。		75歳未満年齢調整死亡率は、第4次岐阜県がん対策推進計画に合わせていますが、今後の社会的構造の変化に伴ってより適切な評価ができるように、中間評価の際には基準の変更も考慮します。
5	上田議長	特定健診、がん検診等啓発するためには企業と協力が必要だと思う。	市民というくくりで考えて、連携についてはこれから模索していかなければいけないと考えています。	健康増進法に基づき健康づくりを推進していく健康増進実施者には職域も含まれているため、健康課題やお互いの事業内容を共有する機会を作っていきます。計画書P63「第5章 3. 健康づくりに取り組む関係部署及び関係機関との連携」に追加記載。
6	上田議長	診療している患者さんの中に飲酒トラブルがある。専門病院の情報を医療機関は多分知らない。持っている情報を医師に知らせることも必要。	アルコール相談自体はそんなに多くないですが、増加することもありますのでよろしくお願いします。	保健所などから社会資源の情報を収集し、関係機関と社会資源の情報を共有していきます。計画書P55「第5章 2. 3)飲酒 (4)対策」に「③ 関係機関との連携」を追記記載。
7	福田委員	がんについて、教育委員会では医師会の先生と協力してがん教育を進めているのでがん教育を計画に挙げていただきたい。	そのような取り組みがあるようでしたら検討していきたいと思えます。	今後、健康医療課のがん教育の関わりについては、国の指針を確認し、市の担当部署と協議・検討します。計画書P63「第5章 3. 健康づくりに取り組む関係部署及び関係機関との連携」を追加記載。
8	上田議長	健康ポイント制度などポイント化したら若者に届きやすいと思います。	ウォーキングアプリを推奨して現在行っています。他の先進的な事を参考にしながらやっていきたいと思えます。	県主催の『健康・スポーツポイント事業』を県と協働で行っています。又市主催のアプリを活用した健康ウォーキング事業を行っています。今後は子どもの健診・相談等の機会も活用し若い世代へのPRも行っていきます。計画書P52の対策

No	委員	質問事項	第2回協議会での回答	計画への反映状況
9	丸山委員	がん検診で内視鏡検査など独自の政策を出さないと青森県など大腸がんが多いので1～2週間かけてずっと内視鏡検査をやっている。その分医療費がかからなくなるわけだから、そういう施策を考えたらどうか。	胃の内視鏡検査につきましては、当課でも一昨年から検討していますが、医療機関の受手がないなど整備が整わないため、今後も引き続き調整していきたいと思えます。	アンケート調査などから中津川市の実情を踏まえ、内視鏡検査やHPV検査の導入などの、より効果的な施策を検討していきます。 計画書 P26 の対策
10	富田委員	生活習慣病予防の発症と予防の徹底に薬害を加えていただきたいです。適正な薬の服薬は大切だと思います。		生活習慣病重症化予防には、食事・運動だけでなく適正な服薬も重要であり、循環器病・糖尿病の重症化予防の保健相談・支援にそれも含まれています。